

「ゲーム理論とその応用」研究部会経過報告

01602970 東京工業大学 *武藤滋夫 MUTO Shigeo

01013770 東京工業大学 猪原健弘 INOHARA Takehiro

1. はじめに

「ゲーム理論とその応用」研究部会は、武藤、猪原を主査、幹事とし、平成12年4月より、原則として毎月最終土曜日に東京工業大学大岡山キャンパスにおいて研究会を開催してきた。平成13年11月で18回を数えている。研究部会には50名を越える参加者があり、研究会にも常時20から30名の出席者がいる。これまで、金融工学、制御工学、情報工学、環境工学、計算機科学、情報科学などさまざまな理工系分野からの報告があり、また経済学をはじめ社会学、政治学など社会科学の分野からの報告もあって、文理両分野からの出席者の間で興味深い議論が行われ、ゲーム理論およびその応用に関する新たな発展の方向が生まれつつある。

2. これまでに開催した研究会での報告テーマ及び報告者一覧

第1回（平成12年4月22日，出席者60名）

テーマ：ゲーム理論を始めた頃の課題と現在における今後の課題

報告者：鈴木光男（東京工業大学名誉教授）

第2回（平成12年5月27日，出席者25名）

テーマ：An α -core and a β -core of an Incomplete Game

報告者：内海幸久（慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程）

テーマ：ポテンシャル関数を用いた均衡選択理論について

報告者：宇井貴志（筑波大学社会工学系）

第3回（平成12年6月24日，出席者28名）

テーマ：Evolution of Attitudes towards Risk

報告者：荒木一法（早稲田大学政治経済学部）

第4回（平成12年9月9日，出席者20名）

テーマ：The Art of making Everybody Happy—How to Prevent a Secession—

報告者：Shlomo Weber (Department of Economics, Southern Methodist University, U.S.A.)

第5回（平成12年9月30日，出席者20名）

テーマ：金融機関におけるリスク・キャピタル・アロケーション—ゲーム理論の応用例—

報告者：朝香智雄（東京海上火災保険財務企画部運用企画グループ）

テーマ：Global Instability in Experimental General Equilibrium: The Scarf Example

報告者：下村研一（大阪大学大学院国際公共政策研究科）

第6回（平成12年11月25日，出席者25名）

テーマ：Bargaining Equilibrium with Complexity

報告者：三上和彦（ボストン大学大学院）

テーマ：ペア行列ゲームとマネジメントへの応用について

報告者：松井正之（電気通信大学システム工学科）

第7回（平成12年12月9日，出席者40名）

テーマ：Behavior-based price discrimination and product compatibility

報告者：松島法明（東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程）

テーマ：多主体複雑系と知的ポリエージェント学習モデル

報告者：木嶋恭一（東京工業大学大学院社会理工学研究科）

第8回（平成12年12月25日，出席者15名）

テーマ：Assignment Games and Core Stability

報告者：T.E.S.Raghavan (Department of Mathematics, Statistics and Computer Science,
University of Illinois at Chicago)

第9回 (平成13年1月27日, 出席者20名)

テーマ：Consistency implies equal treatment in TU games

報告者：穂刈 享 (京都大学経済研究所)

テーマ：Budget distribution problem

報告者：篠塚友一 (小樽商科大学商学部)

第10回 (平成13年4月28日, 出席者40名)

テーマ：階層ゲームの定式化と国際政治学への応用

報告者：松本光崇 (東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程)

テーマ：ゲーム理論を使った党派形成の分析

報告者：猪原健弘 (東京工業大学大学院社会理工学研究科)

第11回 (平成13年5月26日, 出席者35名)

テーマ：定量的モデルの共有知識を仮定しない不完備情報ゲームにおける意思決定

報告者：小林憲正 (東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程)

テーマ：The roles of rules on tariff concessions in the WTO—A game-theoretical appraisal

報告者：中西訓嗣 (神戸大学大学院経済学研究科)

第12回 (平成13年7月7日, 出席者30名)

テーマ：非自励的な対称LQ微分ゲームにおけるNash均衡の存在と一意性

報告者：田中久稔 (早稲田大学政治経済学部)

テーマ：Paradoxical Cost Degradation is Largest in Complete Symmetry of a Nash Non-cooperative Network

報告者：亀田壽夫 (筑波大学電子・情報工学系)

第13回 (平成13年8月6日, 出席者20名)

テーマ：A Non-cooperative Bargaining Foundation of Nucleolus -- The Nucleolus Equivalence

報告者：渡邊直樹 (Department of Economics, SUNY at Stony Brook and Kyoto University)

第14回 (平成13年9月8日, 出席者25名)

テーマ：ネット指向戦略シナリオ・プランニング手法とゲーム理論：金融工学の視点から

報告者：内平直志 (東芝 研究開発センター システム技術ラボラトリー)

第16回 (平成13年10月20日, 出席者25名)

テーマ：Minimum memory for equivalence between ex ante optimality and time-consistency

報告者：Jeff Kline (Bond University, Economics Department and 筑波大学社会工学系)

テーマ：Product liability and signaling in a monopolistic market

報告者：下村研一 (大阪大学大学院国際公共政策研究科)

第17回 (平成13年9月29日, 出席者30名)

テーマ：Multi-Object Auctions with Necessary Bundles

報告者：渡辺隆裕 (岩手県立大学総合政策学部)

テーマ：Extended Self, Game, and Value Conflict Resolution

報告者：肥田野 登 (東京工業大学大学院社会理工学研究科)

第18回 (平成13年11月10日, 出席者25名)

テーマ：A Strategic Model of Network Formation in a Social Dilemma

報告者：升田 猛 (東京都立大学経済学部)

テーマ：Finding a Common Weight Vector of DEA Based on a Bargaining Game

報告者：杉山 学 (群馬大学社会情報学部)

第19, 20, 21回 (平成14年1月9日, 12日, 16日 予定)

テーマ：Cooperative Extensions of the Bayesian Game

報告者：Tatsuro Ichiishi (Department of Economics, The Ohio State University and
一橋大学大学院経済学研究科)